

開催5年を経て、いつのまにかメディアコスモスのことを子どももおとなも「メディコス」と愛称で呼ぶ方がたくさんになりました。本当にうれしい限りです。

単にひとが集まるだけでなく、岐阜の魅力と可能性を掘り起こしながら、まちに対する「シビックプライド」、愛着や誇りをみなさんと高めていくために、メディコスはこれからどんな役割を果たせるのだろうか。

岐阜にいま足りないものはなんでしょう。

デザイン？アート？編集？みんなが集まりホッペで話す機会？ひとのつながり？歴史の掘り起こし？

みなさんといっしょに、この連続講座を通してメディコスがさらにバージョンアップするための

アイデアや考えを集めてみたいと思います。

ぎふメディアコスモス 総合プロデューサー 吉成 信夫

ぎふの魅力と可能性を伝える方法を学ぶ。シビックプライド講座

みんなで考える、

わたしたちとメディアの **コレカラ**

## 第2回

# ことばとメディアを武器に。

-対話の道具箱としてのメディコス-

## 2020.11.3 (火・祝)

【場 所】 みんなの森 ぎふメディアコスモス 1FDキドキテラス

【時 間】 14:00~16:00 (開場は13:30)

【定 員】 50名 (ZOOMで参加することもできます) ・参加無料

【申込方法】 開催日(11/3)の13:00までに、Eメール ([g-mediacosmos@city.gifu.gifu.jp](mailto:g-mediacosmos@city.gifu.gifu.jp))

または電話(058-265-4101)、もしくは1F総合案内にお申し込みください。

Zoomでの参加を希望される方は申込みの際にその旨お伝えください。

コロナ禍の世の中でも、  
楽しく愉快に生き延びていくためには、  
自分のことばとメディアが欠かせない。  
豊かな対話を引き出す道具箱のことを考えてみよう！

〈出 演〉

〈進 行〉



平賀 研也

(元県立長野図書館館長)



今尾 真也

((株)リトルクリエイティブセンター 代表取締役)



久野 晃司

(Shift 代表)



吉成 信夫

(ぎふメディアコスモス 総合プロデューサー)

1959年生まれ。法政・経営企画マネージャーとして企業に勤務。その間に米国で経営学を学ぶ(イリノイ大学経営学修士)。2002年長野県伊豆原市に移住。総合研究開発機構「NIRA政策研究」編集支援等。総合研究開発機構「NIRA政策研究」編集支援等を経て、2007.4~2015.3公職により伊原市立伊原図書館館長。「伊原谷の屋敷のなまめ物産館」の屋敷のある広場。を回復取り組みでLibrary of the Year2013大賞受賞。2015.4~2020.3県立長野図書館館長。県立図書館の再ジョーニングを再定義する事業推進が「知の公共性をひたむきに追求した、其の舞台となる図書館の発展」との理由でLibrary of the Year2019優秀賞受賞。

1985年岐阜生まれ。株式会社リトルクリエイティブセンター代表取締役。2014年に同級生3人で株式会社リトルクリエイティブセンターを創業。街づくりを中心にデザインからディレクションなどを行うクリエイティブ会社。その外に「ALASKA BUNGU」や「またまたボックス」の運営・デザインや「KAKAMIGAHARA STAND」の運営・デザイン等の共同運営・デザインなども行う。2019年7月から新たに「岐阜ホール」をオープンした。

Olein Design代表。岐阜県岐阜市でフリーランスWeb制作者。岐阜市市民活動団体Shift代表の他、岐阜県のWordPress公式地域コミュニティであるGifu WordPress Meetupの共同オーガナイザー。7歳から17歳までの子供たちに無料でプログラミングに取組み環境を提供するCoderDojo岐阜チャンピオンとしても活動。最近では、岐阜市の市民団体活動推進を推進するポータルサイトのWILLSETを立ち上げ、普及活動を進める。

1956年、東京生まれ。コンサルティング会社を経て、95年に若手塾に参拝。若手塾後のニュー・ジニアム研究員を務めて、2001年に専攻を利用した「島と風のつぐみ」を制作。03年から7年間、若手塾立派な現代美術を創った。NPO法人若手子ども環境研究所理事長。15年より岐阜市立図書館の館長を務め、20年より現職。

## 講座一覧

※第3回以降の受講者募集については、後日ご案内します。

### 第3回 12月19日(土)

#### 「岐阜に足りないものは、デザイン？アート？それとも編集？」

岐阜のシビックプライドについて考える時、メディコスが果たせる役割って一体なんだろう？  
デザインやアート、編集を手がかりに、岐阜の魅力と可能性を伝える方法について語ってみよう。



藤本 智士  
(有限会社りす 代表/編集者)

×



伊村 靖子  
(情報科学芸術大学院大学 准教授)

×



鷲見 栄児  
(DesignWater 代表)

### 第4回 1月17日(日)

#### 「市民、住民の力で公共空間は変わる。広場としてのメディコス」

ひとが集い、たえず緑が生まれる広場的、公園的役割を公共施設は担えるだろうか。  
まちなかにある幾つもの広場をつなげていけば、まちはもっと楽しくなるはずだ。



青木 純  
(株式会社nest 代表取締役  
/株式会社まめくらし 代表取締役)

×



名畑 恵  
(NPO法人まちの緑創育くみ隊 代表理事)

×



野尻 智周  
(NPO法人ぎふNPOセンター 事務局長)

### 第5回 2月11日(木・祝)

#### 「SDGsとシビックプライド。メディコスのミライへ(仮)」

よそことではなく自分ごととして動くこと、シビックプライド、SDGsは重なりあうもの。  
いまこころから踏み出すためのヒントをみんなで話してみよう。

柴橋 正直(岐阜市長)

山崎 亮(studio-L 代表/コミュニティデザイナー)

山本 慎一郎(ぎふまちライブラリー 店主/山本佐太郎商店 代表)



ぎふメディアコスモス  
GIFU MEDIA COSMOS

(問い合わせ先)

みんなの森 ぎふメディアコスモス  
〒500-8076 岐阜市可町40番地5

TEL: 058-265-4101 HP: <https://www.g-mediacosmos.jp/>